

女性社員交流支援事業【名古屋市】

総事業費	950 千円
交付金額	405 千円

地域の実情と課題

○企業アンケートの結果、行政に期待する支援について、1位の「子育て支援サービスや相談窓口の周知」(38.2%)に次いで、「成果をあげている企業の具体的な取組み事例の紹介」(35.6%)、「社会全体の機運醸成」(31.1%)があげられており、広報や啓発が求められている。

○出産と就業継続について、「職場において育児休業などの両立支援制度が整い働き続けられやすい環境が整っていれば続けた」など、本当は続けたかった方は、約45%にのぼった。

○子育て期と思われる30~40歳代で、1日11時間以上働いている割合は女性が約10%であるのに対し、男性は約30%となっており、家事・育児・介護などに関わりたくても関われない状況に置かれている。

○就職する世代の女性が東京圏へ転出超過しており、名古屋圏において女性が活躍できる環境を整備することによって東京圏への転出を食い止める必要がある。

目的・目標

○「名古屋モデル」(名古屋市男女平等参画推進会議(イコールなごや)で各主体が女性活躍に関する課題を共有し、課題解決に向けて主体的に取り組み、検証していく仕組み)において、各主体が一体となって一層強力に女性の活躍を進めていくためには、行政自らが事業を実施することで牽引していく必要がある。

○目標については「名古屋モデル」のPDCAの「CHECK」(効果検証)に位置付けている「女性活躍推進に係るアンケート」により検証する。

①トップの女性活躍推進に関するメッセージの発信に取り組む企業の割合:50%

②女性の管理職への積極的登用に取り組む企業の割合:50%

③育児休業制度を利用した男性従業員がいる企業の割合:50%

本事業における目標値:参加者数50人(R6年度)
実績値:21人(R6年度)

事業の特徴

入社から10年目程度の若手・中堅社員を対象に、キャリアアップに向けたセルフ・エンパワーメントとつながりづくりを目的とした研修及び交流会を実施した。

連携団体

連携団体:経営者団体、教育機関、市民団体(女性団体、男性団体等)、行政機関の全47団体

事業の効果

○参加者アンケートでは、全員から「大変満足」「やや満足」といった高評価をいただいた。

○参加者からは、パネリストのキャリアストーリーを聞いてキャリア形成に対して前向きになれたことや、交流を通じてコミュニケーションや人のつながりの大切さを改めて感じたことなどの感想をいただいた。

今後の課題

○事業に対する参加者満足度は非常に高いため、対象者へいかに事業をPRするかが課題。参加しやすい開催日程の設定や事業広報の仕方について工夫が求められる。

○交流を通じた前向きな感想が多くみられるため、引き続きネットワーク強化を充実させていくことが重要である。

女性社員交流支援事業

- ・企業等で働く女性に向けて、キャリアについて考えるきっかけとなるような研修を実施するとともに、働く女性のつながる場を提供することで、相互に高め合う関係性を構築し、エンパワーメントの向上につなげるため、入社から10年目程度の若手・中堅社員を対象にキャリアデザイン研修及び交流会を実施した。
- ・参加者アンケートでは、全員から「大変満足」「やや満足」といった高評価をいただいた。
- ・参加者からは、パネリストのキャリアストーリーを聞いてキャリア形成に対して前向きになれたことや、交流を通じてコミュニケーションや人とのつながりの大切さを改めて感じたことなどの感想をいただいた。

○女性社員交流支援事業

「わたし流セルフ・エンパワーメント!～自信を持って自分らしく。自分のキャリアを切り拓こう!～」

【日程】令和6年12月10日 各13:30～16:30

【参加人数】21人

【内容】

第1部 パネルディスカッション

「先輩たちのキャリアストーリー」

- ・・・各企業で活躍する3名のパネリストに自身のキャリアについてお話いただく。
- 全参加者との質疑応答あり。

第2部 グループワーク

「わたしのセルフ・エンパワーメント」

- ・・・セルフ・エンパワーメントについて、グループメンバーと話し合う。

